



三笠の子どもの教育  
のため、教育研究所を  
はじめ、教育関係者の  
皆様には、ご協力ご尽  
力いただき、心から厚  
く感謝申しあげます。

さて、日本の教育環境は、国が推進する「教  
育再生」のもとに大きく変化しようとして  
おります。

とりわけ、東京オリンピック・パラリンピ  
ックが開催される二〇二〇年を目標に、ます  
ますグローバル化が進展する国際社会の中  
で、日本が世界と渡り合つて成長・発展して  
いくため、教育が国の根幹を形づくる最重要  
政策と位置づけ、世界トップレベルの学力と  
規範意識を備えた人材の育成に向けて、学校  
教育においては、従来の知識・技能の習得だ  
けではなく、主体的・協同的・実践的な学びの  
あり方が求められていくこととなります。

当然のことながら、そのためには学習指導  
要領の改訂や指導体制の整備など、近い将来  
において劇的な変化が予想される昨今であ  
ります。

こうした中、三笠市では、北海道が掲げる  
「地域全体で子どもたちを守り育てる、社会  
で活きる実践的な力の育成」を目指し、第8  
次三笠市総合計画の基本目標に沿って、地域  
に根ざした教育、生まれ育つたふるさと三笠  
に愛着と誇りを持ち、将来に向かって夢や希  
望を描ける子どもたちの育成に向けて、教育  
行政の推進に努めているところあります。

義務教育においては、市内小中学校にお  
いて、小中一貫教育を実践するとともに、三笠  
市立三笠高等学校においては、「市立三笠高等  
学校」においては、「食のスペシャリスト」として社会に貢献  
できる人材の育成に努めています。

生徒たちは、教職員の皆さんのご指導のも  
と、自らの夢の実現に向けて、着実に成長し  
ております。連日、まことに明るい話題を提供して  
頂いております。

本年3月、食物調理科として初めての卒業  
生を輩出することができました。

第1期生は新たな夢と希望に胸を膨らま  
せ、学び舎から巣立つて行きました。

これからも本校に夢と希望を抱いて入学  
できるよう、教職員の皆さんとともに、全力  
で取り組んで参りたいと考えております。

今後とも、より充実させた「」と、希望の  
見える「明日」を保障する教育活動に、しっかりと  
お預かりし、夢の実現に向けて着実に前進  
できるよう、教職員の皆さんとともに、全力  
で取り組んで参りたいと考えております。

これまで、生徒達の貴重な3年間をしっかりと  
とお預かりし、夢の実現に向けて着実に前進  
できるよう、教職員の皆さんとともに、全力  
で取り組んで参りたいと考えております。

これからも本校に夢と希望を抱いて入学  
できるよう、教職員の皆さんとともに、全力  
で取り組んで参りたいと考えております。

これまで、生徒達の貴重な3年間をしっかりと  
とお預かりし、夢の実現に向けて着実に前進  
できるよう、教職員の皆さんとともに、全力  
で取り組んで参りたいと考えております。

## 新たなステージへの挑戦

北海道三笠高等学校長 高瀬雅朗

本年3月1日、新生  
「三笠高校」第1期生  
が高校を卒業し、夢の  
実現のための第一歩  
を踏み出しました。40  
名が入学から一人も

欠けることなく、無事卒業できること。さら  
には、早い段階で、高校の使命である「進路実  
現」を、生徒の希望を叶えた形で出来たこと  
に對して、安堵しています。

第1期生の進路については、就職者のうち  
道外に5名が決定しました。調理師コースで  
は、東京のフレンチレストランに2名、京都  
の和食料亭に1名、製菓コースでは、東京、京  
都のスイーツ店に就職が決まりました。進学  
者も、道外の国立大学に進学した者をはじめ  
に、さらに知識・技術を高めて、将来地  
域に貢献すべく新たなステージに進みました。

就職した者が13名、進学した者が16名となり  
ました。いすれの生徒も、自分の夢を実現す  
るために、さらに知識・技術を高め、将来地  
域に貢献すべく新たなステージに進みました。  
そして、6名が道外に進学しました。道内に

就職した者が13名、進学した者が16名となり  
ました。いすれの生徒も、自分の夢を実現す  
るために、さらに知識・技術を高め、将来地  
域に貢献すべく新たなステージに進みました。  
そして、6名が道外

